

## 2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ③

東日本ユニオン 中央本部

# これが現場社員の声だ！

- 回答に納得できません。奮起もできません。「赤字だから我慢しろ」と言うが、働く人間はそう簡単にはいきません。2.2ヶ月回答で人は動くのか、動かせるか、経営陣は考えてみてください！
- 結局足並みを揃えることしかできないのかな？との印象です。この前、JR東海の313系に乗ったとき、コロナ対策なのか換気機能が追加されていました。今さら古い313系に対策をしてくるとは思わなかったため驚きましたが、しっかり目に見えるハード対策を拡充していることに羨ましさを感じました。一方、ウチはこれから寒くなるから「半自動にする目安の温度などを決めてほしい」と会社に要望しても「車掌の判断でおこなって下さい」の一点張り。社員の技術や経験に判断を委ねています。喫緊のハード対策もままならない状況で人件費だけを削り、会社が一体どこに投資しているのか不思議でなりません。
- 2.2ヶ月分の回答ですが、会社の体力から見て低すぎると思います。当然、会社役員の方も痛みを分かちあうんですよね。
- 我々社員への回答が妥当だと言うなら、役員報酬は全額返納するのが当たり前ではないでしょうか？それがたったの1～2割とは…。
- これから「変革」と称して、さらにコストカットするんでしょうね。
- コロナの影響で大幅な赤字に転落となりましたが、社員は定期列車の運行に全力をあげ、コロナ感染のリスクを抱えながら公共交通の役割を果たしてきました。過去、会社は最高益を何回も更新して来ましたが、先行きが不透明を理由に社員に還元してきませんでした、内部留保金は莫大なものになりましたが、今回の様なときのために蓄えてきたと理解しています。現場第一線でリスクと闘いがんばってきた社員の労苦を労うためにも最低でも2.8ヶ月は出すべきだったと思います！JR東海が先に2.2ヶ月を出し「右に習え」では主体性がない。会社はもっと社員の立場に立った回答が欲しかった！妥結するな！
- 「期末手当は社員の生活費となっていると認識している」「人件費をカットしてまでコストコントロールはしない」と会社は言っておきながら、2.2ヶ月の回答には正直落胆しました。ざっと計算しても家のローンを払ったりすると、まったく余裕がありません。労働組合に入っている者の意地として、年末手当の上積み何とか会社にせまることはできないでしょうか？